

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 酢酸ビニルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号 No. 2001-生29

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 酢酸ビニル
- 2) 暴露方式： 半止水式、毎日試験液の全量を交換 (密閉容器使用)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 0.22, 0.46, 1.0, 2.2, 4.6, 10, 22 mg/L
公比 ; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 °C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： GC-MS法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えた濃度区があったため、各影響濃度の算出には測定値（時間加重平均）を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度（LC50）： 7.44 mg/L

(95%信頼区間： 4.48 ～ 9.54 mg/L)

50% 繁殖阻害濃度（EC50）： 1.72 mg/L

(95%信頼区間： 1.51 ～ 1.97 mg/L)

最大無作用濃度（NOEC）： 0.317 mg/L

最小作用濃度（LOEC）： 0.858 mg/L